

事例5-11



取組名	タブレット端末の配備による会議のペーパーレス化		
町会名	いねこき 稲核町会（安曇地区）	町会 データ	・人口／156人 ・世帯数／81世帯 ・高齢化率／52.8％ ・町会加入数／72世帯 ・隣組数／10組
取組概要	○ 代議員 12 名分のタブレット端末を配備することで、代議員会をペーパーレス化 ○ 会議資料は、事前にLINEグループでも共有		

背景・課題

- ・ 当町会には、町会組織上、①総務部、②産業部、③厚生部の3部会があり、正副部会長及び町会役員6名の計12名で代議員会を組織している。
- ・ 代議員会は毎月開催し、会議資料については、町内公民館のコピー機で印刷しているが、印刷速度が遅く、資料を整えるのに手間と時間を要している。

経過・取組内容

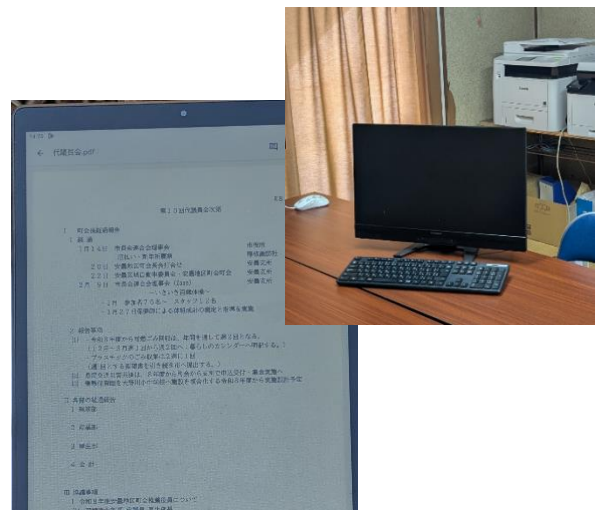
- ・ 代議員の中にデジタルが得意な人がいたことから、会議資料をデータ化し、タブレット端末で共有することを提案
- ・ 総会において、パソコン、タブレット端末、印刷機、モニター、大型スクリーン等の導入について審議。了承を受け、器材を購入することになった。
- ・ 公民館にパソコン、印刷機他を設置し、Wi-Fi環境を整えたほか、代議員全員にタブレット端末を配備した。
- ・ 会議資料は作成後、会議案内とともにLINEグループで共有し、内容確認を依頼している。
- ・ 代議員会は、従来どおり対面で行っているが、各自が持参した端末を利用し、ペーパーレスで会議を行っている。
- ・ 総会時は、大人数が入れる施設を利用し、スクリーンに資料を投影しながら会議を行っている。

- ・ なお、端末等の維持管理に係る通信費等は、町会が負担している。

成果・今後の展望等

- ・ 会議をペーパーレス化したことにより、印刷等に掛かる時間を削減することにつながった。
- ・ 会議記録が端末に残ることから、過去の資料を確認することが容易になり、紙資料を綴るファイル等が不要となった。
- ・ データ格納量の増加に伴い、タブレット端末の動作が遅くなっていることから、端末の更新を検討している。

公民館に配備したパソコン



タブレット端末の画面

【ポイント】

- ▼ 町会でタブレット端末を配備することで、毎月の会議をペーパーレス化